

ナチュラルホースマンシップを取り入れた 引退競走馬のリトレーニング講習会

「ナチュラル・ホースマンシップ」＝馬と自然なコミュニケーションをとろうとする考え方。

講師：持田 裕之

1965年広島県生まれ。北海道帯広市の馬の調教の研修施設などを備える牧場「ヒロユキ・モチダホースマンシップ（HMH）」（帯広市富士町西6線）の代表。

持田氏は、一年の3分の2は道外に出向き、全国各地で競走馬や乗用馬の調教、調教師や指導者、乗馬愛好者への指導や講習会を開催している。地上で人馬が向き合って意思疎通を図る「グラウンドワーク」に力を入れ、一般社団法人ジャパンホースグラウンドワーク協会理事も務める。

講習会などに加え、「2021年度JRA賞・馬事文化賞」（編集に協力した書籍「馬のこころ」）を受賞。2021年12月には初の自著「ホースマンシップ 人と馬との関わり方」を出版し、自身の理論を広く普及している。

20代前半をアメリカで生活した後、日高地方の早田牧場に勤務し、ニュージーランド人のクリスティー・ラスベン氏から「ナチュラル・ホースマンシップ」の理論に基づく新馬調教を学び、通信教育やアメリカ研修を行った。北海道中札内村の花畑牧場を経て、2004年に独立して市内で牧場を経営し2015年に現在地へ移転した。

2018年度より（公社）全国乗馬倶楽部振興協会の引退競走馬のリトレーニングや指導者資格保有者に対しての講習会を開催している。

≪令和3年度 講習会の様子≫



茨城県



秋田県



福岡県